

「始」の色紙



今年も新年の抱負を色紙に書いてほしいと依頼がありました。昨年は、コロナ禍で密を避ける一方、「心」の絆の大切さが叫ばれたことから、「心」と書きました。コロナは、3年経った今も収束していません。第8波に入り、感染者数も高止



「始」の色紙
「Beyonndコロナ」
コロナを乗り越えて、今年が皆さまにとって、希望に満ちた飛躍の年になりますように、心からお祈りします。

まりの状況です。
しかし、世の中の空気は変わってきました。コロナ禍であっても普通の生活をしたいと、新しいライフスタイルを模索し始めました。もちろん、感染対策をおろそかにしてはなりません。コロナ禍のさまざまな制約から解放されて、充実した暮らしを始めたい気持ちが高まりつつあります。
今年も、こうした暮らしが新たに始まる期待を込めて「始」と書きました。
今年の干支は「癸卯」です。「癸」は、十干の10番目で、一つのことが収まり次のことが始まるといわれています。十二支の「卯」は、春の訪れやピョンピョン跳ねるウサギにあやかっつて、飛躍の年ともいわれます。いずれにしても、縁起の良さが感じられます。さまざまなことに区切りを付け、次へ向かっていく年にしたいと思います。

渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(TEL 253215)

美術の小窓



《エアロゾルの粒晶結合》

渋川北中学校 作
2001年
高さ：38cm
素材：ブロンズ

当時、選択美術を履修していた中学3年生が制作をしました。作品を制作する前に、作品が設置される場所を訪れた子どもたちが感じた“風”が、制作のテーマとなりました。空気中に漂うとても小さな粒子が、舞い、輝き、結合するという動きが表現されています。1つの作品を13人で制作したことで、次第に子どもたちの気持ちも団結し、大きなうねりとなって作品が完成しました。

この作品は、市総合公園内の自由広場西側の駐車場の辺りに設置されています。

●市美術館は、移転のため休館しています

地域おこし
協力隊

長沼隊員の
おすすめスポット
— Vol.22 —



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします！

2023年、最初のおすすめスポットは…初日の出！ではないのですが、いつの日か見た「長峰公園からの朝日」をご紹介したいと思います。長峰公園の展望台から見た、赤城山から昇る朝日がなんとも奇麗で、夜が明ける瞬間はとても感動しました。真っ暗だった街が、徐々に温かな光に包まれていくあの光景が忘れられません。ぜひ一度、早起きをして朝日を見に出かけてみてはいかがでしょうか。

